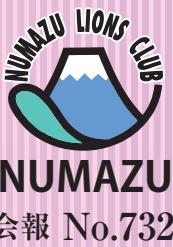


NUMAZU LIONS CLUB



2013
4



平成25年2月7日(木)2月第1例会 講師 篠崎尚史氏

献眼と臓器提供の崇高な文化を造る!!



334複合地区スローガン

“奉仕の世界は熱い情熱と固い絆から”

334-C地区スローガン

“笑顔で奉仕 人に心の豊かさを!
—感動の奉仕で 日本再生—”

クラブスローガン

“あす
明日に向かい We Serve!”



We Serve

沼津ライオンズクラブ



1月 第1例会

新年例会

赤堀丸前途洋々の折り返し -明るい新年のスタート-

1月7日(月)沼津リバーサイドホテルにおいて新年例会が開催されました。昨年末の政権交代により社会・経済情勢に明るい兆しがうかがえる中、年頭を飾る赤堀会長の挨拶も力強く自信にみなぎり、メンバー一同、クラブ活動にも、おのとの事業にも一層の飛躍を誓って、新年のスタートを切るのにふさわしい明るく楽しい例会となりました。



▲赤堀会長の年頭挨拶

▲神妙な面持ちで開宴の挨拶をする
丹澤第1副会長

▲乾杯の音頭はL.土屋誠司

▲新年の華やいだ雰囲気にふさわしい草間路代さん・篠原千穂さんによる
筝曲演奏

▲L. 神農の軽妙な司会によって大いに盛り上がったbingoゲーム

2013年
飛躍の巳歳男



L.横山 業	1929生
L.保坂 一巳	1929生
L.小原 嘉弘	1953生
L.井上 孝喜	1953生
L.稲野 雅信	1965生
L.飯田 太志	1965生



▲年男に記念品贈呈

古希 L.田澤 穆
1943.1.20生 70才



▲年男による力強いローア



宴を締める森第2副会長の▶
閉宴挨拶





1月 第2例会

前期決算報告・監査報告

1月17日(木)沼津リバーサイドホテルにおいて行われた1月第2例会では、会計L.柏木による前期決算報告ならびに監査報告が行われ、前期決算が無事承認されました。また、前年度クラブ優秀賞パッチ・クラブ会長賞ピン・クラブ幹事賞ピンがL.前田利定前会長、L.服部巖一郎前幹事に伝達されました。さらに、L.前田、L.小林龍司、L.後藤行宏に對して2名以上の新会員のスポンサーをつとめた会員に国際協会より贈られる会員キー賞が伝達されました。本年度のMJF寄付者8名には記念品が贈呈されました。



▲前期決算報告をする会計L.柏木



▲お疲れさま。前期決算報告を承認された会計L.柏木と副会計L.中村による安堵のロア



▲会員キー賞を受けたL.小林とL.後藤



▲テールツイスター登場では、T.T.L.杉山によるボケ(認知症)診断テストが行われ大いに盛り上がりましたが、全メンバー異常なしということでひと安心

MJF 寄付者

L. 土屋 誠司 (21回)

L. 横山 業 (11回)

L. 田中 章生 (9回)

L. 竹村 喜次 (5回)

L. 乾 精治 (2回)

L. 赤堀 肇紀 (1回)

L. 丹澤 忠芳 (1回)

L. 森 幹生 (1回)

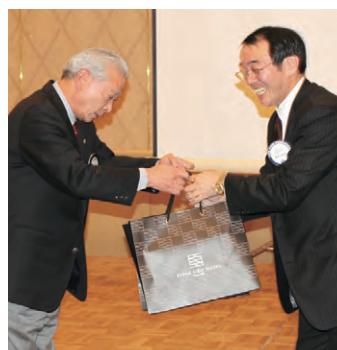
2月 第1例会

視力福祉委員会担当例会

2月7日(木)沼津リバーサイドホテルで開催された2月第1例会は視力福祉委員会担当で、東京歯科大学市川総合病院角膜センター長篠崎尚史氏により「我が国のアイバンクが目指すもの」～アメリカのアイバンクの歴史から学ぶ～と題してご講演いただきました。過去20年間で5000人の角膜移植を実現した講師の実践に裏打ちされたアイバンクにかける情熱と行動力に圧倒され、感銘を受けた講演会となり、メンバーと一緒にアイバンク運動への更なる邁進を促すモチベーションとなる講演がありました。

▲講演に先立ち趣旨説明をする
L.土屋(英)視力福祉委員長▲他のクラブ・ロータリークラブ・一般の方々にも
熱心にご聴講いただきました

▲講演終了後、オブザーバーとしてお越しいただいた沼津市立病院の北村先生をはじめ多数の皆様より活発な質問がありました

▲赤堀会長より謝辞とお礼の品が
講師に手渡されました



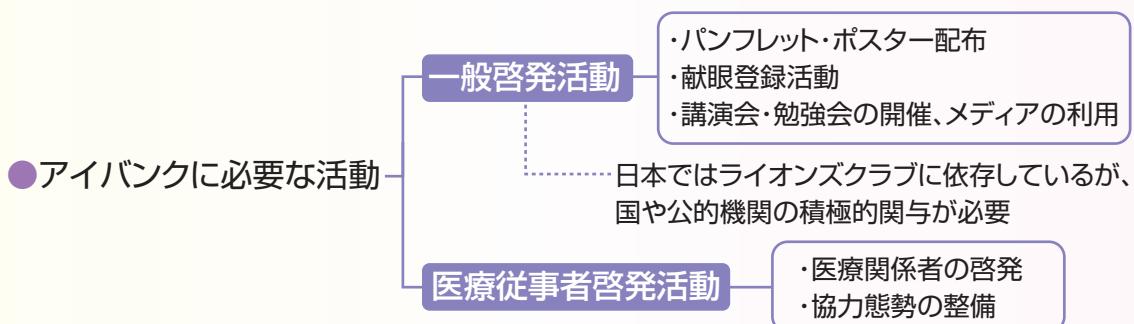
2月 第1例会

講演要旨

- アイバンク…厚生労働大臣認可の臓器斡旋業(ボランティアではない)
- 業であるからプロが関与しないとうまくいかない
- ライオンズクラブのアイバンク運動も慈善事業から脱皮しなければダメ
→プロ(命をかけてやる人)を雇用し、養成してアイバンクを経営するという視点が必要
- 自分の臓器を提供してもいいという日本人が40%もいるというのに、実際の臓器移植はきわめて少ない…どこかにシステムエラーがあるのではないか?
- 1980年代にアメリカで飛躍的に献眼数が増加した理由
 - ・アイバンク専門職員(移植のプロ)の雇用
 - ・病院開発のための専門教育の開始
 - ・マーケティング戦略の立案
 - ・アイバンクテクニシャン(技術者)の認定
 - ・RRS(Routine Referral System)の開始

亡くなられた方全員の情報が集まるシステムがアイバンクの中に作られた

- 2012年には全米で約80のアイバンクが活動し、年間の献眼数は96,000件を数える
- 我が国でもRRSの組織づくりと運用が重要…臓器移植に関しては医師は直接動けないので、遺族の意志を確認し、納得・満足して移植の了解を取ることのできる斡旋のプロが必要



【講師】篠崎 尚史(しのざき なおし) 昭和31年(1956年)1月8日生れ

- 【現職】
 - ・アドバンスト・ソフトマテリアルズ(株)顧問
 - ・WHO世界保健機関臓器移植課エキスパートアドバイザリーパネル
 - ・国立大学法人名古屋大学特任教授
 - ・国際移植学会 The Transplantation Society 倫理委員・n KOL(new Key Opinion Leader)
 - ・厚生科学審議会科学技術部会「臓器移植に係る普及啓発に関する作業班」班長
 - ・「角膜移植の基準に関する作業班」班員
 - ・(独)国立長寿医療研究センター総長特任補佐
 - ・公立大学法人福島県立医科大学放射線医学県民健康管理センター・事業推進アドバイザー



2月 第2例会

会員(GMT・GLT)委員会担当例会

2月21日(木)沼津リバーサイドホテルにおいて会員(GMT・GLT)委員会の担当で2月第2例会が催されました。

「クラブサクセス=会員の参加意識を高め退会を防止し、クラブの活性化を図る」を考えるワークショップを実践し、出席メンバーをグループ分けして【ステップ1】ブレーンストーミング(退会者の出る理由)(20分間)→【ステップ2】ディスカッション(問題解決策を討議)(30分)→【ステップ3】行動計画の立案(行動計画表の作成)(15分)→各グループによる発表を行いました。会員数の減少に歯止めをかけることが喫緊の課題であることから、各グループにおいて熱心な討議が行われ、・メンバーの孤立を防ぐ・メンバー間の交流を盛んにする・出席して楽しい例会にするなど、さまざまな意見があがってきましたが、これらをいかに行動に移していくことができるかがクラブサクセスの成否を握るのは言うまでもありません。会員全員の問題として考え、実践していきましょう。



▲クラブサクセスワークショップの説明をする会員委員長L.小池



◀各テーブルで真剣に議論されました

それぞれのテーブルの意見をまとめて発表する各テーブルの代表者



3月 第1例会

青少年指導委員会担当例会

3月7日(木)沼津リバーサイドホテルにおいて青少年指導委員会の担当で3月第1例会が開催されました。例会に先立ち指名会が行われ指名委員長L.前田より次年度のクラブ役員候補が発表され承認されました。例会では元駐イス大使 村田光平氏より「世界を脅かす福島原発事故処理の原状!」～憂慮される子供の健康問題～と題してご講演いただきました。反骨の外交官として原発の危険性を強く訴える氏の講演は、我々の生活に直結するエネルギー問題に絡むデリケートな問題だけに、我々自身が核エネルギーというものに対して、真剣に向き合わねばならぬことを問題提起する意義ある講演となりました。



指名を受けて挨拶する
2013～2014年度
会長候補L.丹澤忠芳



◀講演に先立ち挨拶する
担当委員長のL.高橋

▲講演する村田光平氏

2013～2014年度 クラブ役員

会長	L. 丹澤 忠芳
前会長	L. 赤堀 肇紀
第1副会長	L. 森 幹生
第2副会長	L. 後藤 行宏
幹事	L. 稲野 雅信
会計	L. 大川 祐輝
ライオン・テーマ	L. 小林 龍司
テーブル・ツイスター	L. 高橋 覚
会員理事	L. 市川 洋一
2年理事	L. 芹澤 明寛
2年理事	L. 村林 照夫
1年理事	L. 前田 利定
1年理事	L. 鈴木 忠一
監査委員	L. 野田金次郎
監査委員	L. 小池 禮二



3月 第2例会

出席委員会担当例会

3月21日(木)沼津リバーサイドホテルにおいて3月第2例会が開催されました。まず新会員・芦澤剛彦様(スポンサーL.柏木)の入会式が会員委員長L.小池の司会により厳粛な雰囲気のうちに執り行われました。



▲入会式の司会をするL.小池



▲新会員・芦澤剛彦様の紹介をするスポンサーL.柏木



▲スポンサーより新会員へバッヂの授与



▲新会員によるライオンズ誓いの言葉

新会員紹介	
氏名	あしざわ たけひこ 芦澤剛彦
生年 月日	1969年6月17日生
事業所	(有)沼津三基 専務取締役(管工事業)



▲会長より新会員へ歓迎の言葉が贈られた

その後、食事をはさんで出席委員会の担当による最新情報端末(iPad)体験・講習会「実際にiPadに触れて、その楽しみ方を判りやすく体験して頂きます」が行われました。講師にTOKAIコミュニケーションズ吉田恭行氏をお招きし、TOKAI様より貸し出されたiPadをメンバーが実際に手にとって、その操作方法を学んだり電子書籍を見たりと、IT時代の必須デバイスをなんとか物にしようと、楽しいなかにも真剣な雰囲気に包まれた例会となりました。



▲講習会の講師、吉田恭行氏



▲iPadの操作を体験するメンバー



▲会長もチャレンジ



▲わかり易くiPadの解説をしていただいた吉田氏に会長より謝辞とお礼の品が手渡された



▲例会担当の出席委員長L.清水によるローラー運動お疲れさまでした



第33回 全日本学童 兼 第35回 スポーツ少年団交流野球大会

[開会式] 3月3日(日)沼津市営球場

[決勝・閉会式] 3月30日(土)沼津市営球場

優勝

原ブルーキッズ

準優勝

四小アトムズ

(決勝戦) 原ブルーキッズ 3-2 四小アトムズ



▲開会式にて挨拶する赤堀会長、
献眼のPRも忘れませんでした



▲選手入場



▲沼津ライオンズクラブ寄贈の横断幕



開会式で役員そろいびみ▶

祝

御結婚—永遠の愛を誓う

Yuuki
Suzuko

我らが信愛なるライオンズメンバーL.大川祐輝が、なんと来年の還暦を前に結婚という快挙(暴挙?いや失礼)をなしとげられました。お相手は宮内鈴子さん。写真でもおわかりのように、笑顔のとてもすてきな美人です。4月6日(土)に大岡のフレンチレストラン ラセールで開かれたおふたりを祝う会では、一流好みのL.大川にふさわしくスワロフスキーのデコレーションが施された世界で唯一のシャンパンがふるまわれ、おふたりの人柄を物語るように終始、なごやかで楽しいパーティとなりました。それにしても、幸せそうに相好をくずすL.大川—うらやましい!!

末永いお幸せを祈ります。そして、次年度の会計も内助の功で乗り切ってください。



▲世界で唯一無二のスワロフスキーのシャンパン



◀愛の証し—L.大川の熱烈な接吻



▲ベストカップルに幸あれ!!